

平成 21 年度
学士学位論文

就職活動を支援する SNS の構築

Job-Hunting Activities Support System Using SNS

1100319 中澤 大樹

指導教員 妻鳥研究室

2010/3/1

高知工科大学 情報システム工学科

要 旨

就職活動を支援する SNS の構築

中澤 大樹

就職活動生は、エントリーから内定までの就職活動の流れに添った自己分析や面接練習などの対策を行う。そして、就職活動生は自分の指導教員や、本学で言えば就職支援部にあたる部署から様々な支援を受けることができ、円滑に就職活動を行うことができる。

しかし、実際の就職活動では、就職活動生が遠隔地での活動中に、教員や就職支援部に相談したい場合、電話やメールでは連絡する時間帯やマナーを意識するため相談しづらい問題がある。また、就職活動生の就職活動への意識が足りないため、就職支援部は意識を高めようとしているが、就職活動生にそれが伝わりきっていない。そして、就職活動生の活動状況を教員と就職支援部間で情報共有ができていないため、就職活動生は状況に合った支援を受けることができない。そのため、就職活動生、教員、就職支援部の3者間での活動状況の報告や連絡、就職相談が可能な、就職活動を支援する場を提供することは有効と言える。

本研究では、本学就職活動生、本学教員、本学就職支援部の3者間の問題を解決し、就職活動を支援することを目的としたシステムを設計、構築する。その際、インターネット上で社会的ネットワークを構築できる SNS (Social Networking Service) を利用して、この問題を解決することを提案し、システムの構築を行った。

構築後は就職活動を終えた学生、就職支援部の方に対して評価を行い、本システムの有効性を確認した。

キーワード 就職活動支援 大学生 SNS

Abstract

Job-Hunting Activities Support System Using SNS

Hiroki NAKAZAWA

Job-hunting activities students prepare to get unofficial decision such as self-analysis and practice of the job-interview. The student can receive various supports from their teacher and placement office of university. For this support, the students' job-hunting activities become smoothly.

However, it is difficult for student to consult job-hunting activities the teacher and the placement office using telephone and mail when they job-hunts in faraway place. Moreover, the students are not motivated to job hunting early. Such students not inform their job-hunting activities progress actively. It is difficult for teacher and placement office to check and share students' progress. Consequently, the students are not able to get various supports even if they not inform their progress actively to teacher and the placement office.

In this study, we regard that it is important to create environment which the students inform and share their job-hunting activities progress between the teacher and the placement office. We developed job-hunting activities support system by introducing SNS (Social Networking Service). The system can display list as the students' job-hunting activities progress. Moreover, we evaluate whether the system can support job-hunting activities between the students, the teacher and placement office efficiently. As a result, we confirmed effectiveness of the system.

key words Job Hunting Activities Support, University Student, SNS

目次

第 1 章	はじめに	1
第 2 章	研究の背景	2
2.1	就職活動の現状	2
2.2	就職活動の問題点	5
2.3	研究の目的	6
第 3 章	就職活動の支援	7
3.1	就職活動に関する意識調査	7
3.1.1	就職支援部の方へのインタビュー結果	7
3.1.2	就職活動を終えた学生 10 名へのインタビュー結果	8
3.2	就職活動を支援するために必要な環境	8
3.3	SNS の利用	9
3.4	一般的な SNS	9
3.5	本研究の SNS	10
第 4 章	就職活動支援 SNS の設計	12
4.1	システムに必要な機能	12
4.2	掲示板機能	12
4.3	日記機能	13
4.4	メッセージ機能	13
4.5	スケジュール機能	13
4.6	状況報告機能 (活動状況表)	13
第 5 章	就職活動支援 SNS の概要	14

目次

5.1	システムの構成	14
5.1.1	ホーム画面	14
5.1.2	活動状況表	16
5.1.3	スケジュール画面	17
5.1.4	掲示板画面	17
第 6 章	評価	20
6.1	評価環境	20
6.2	評価内容	20
6.3	システムに関するアンケート結果	21
6.3.1	学生からの評価結果	21
6.3.2	就職支援部の方からの意見	23
6.4	考察	24
6.4.1	活動状況表	24
6.4.2	掲示板機能	24
6.4.3	教員，就職支援部の方	25
第 7 章	おわりに	26
	謝辞	27
	参考文献	28

目次

5.1	就職活動支援 SNS のホーム画面 (パソコン)	15
5.2	就職活動支援 SNS のホーム画面 (携帯)	15
5.3	状況報告機能を用いた際の活動状況表	16
5.4	他の人から見た場合の活動状況表	16
5.5	スケジュール画面	18
5.6	就職活動生から見た場合の相談トピック画面	19

表目次

6.1	学生の就職活動についての回答	21
6.2	活動状況表の有効性についての回答	21
6.3	活動状況表の操作性についての回答	22
6.4	遠隔地から相談の有無についての回答	22
6.5	本研究の SNS の利便性についての回答	23

第 1 章

はじめに

就職活動はエントリーから始まり，合同説明会や会社説明会，筆記や面接試験を経て内定へと至るまでの流れがある．その就職活動の中で就職活動生は，自己分析から始まり，会社説明会では履歴書の提出，面接試験では面接練習といった状況に応じた対策を行う．また，就職活動生を指導している教員や在籍している学校の就職活動を支援している部署（本学で言えば就職支援部）は，就職活動生からの申し出によって，状況に応じた支援を行っている．それによって，就職活動生は就職活動を円滑に行うことができる．

実際の就職活動について，就職活動を終えた学生と就職支援部の方に調査を行った結果，就職活動生，教員，就職支援部の 3 者間で報告，連絡，相談ができていないことが分かった．例えば，就職活動生と教員間では，就職活動生が遠隔地での活動中に教員に就職相談したい場合，電話やメールでは時間帯やマナーの意識により，相談しづらい問題がある．また，就職活動生と就職支援部間では，就職支援部が就職活動生の就職活動への意識不足から意識を高めようとしているが，就職活動生に伝わりきっていない．そして，教員と就職支援部間で情報共有ができていないため，就職活動生は状況に応じた支援が受けられない場合がある．これらの問題を解決するために 3 者間で報告，連絡，相談が行える環境が必要となってくる．

そこで本研究では，本学就職活動生，本学教員，本学就職支援部の 3 者間で報告，連絡，相談に特化した SNS(Social Networking Service) を構築する．SNS とは，インターネット上で社会的ネットワークを構築するサービスのことであり，新しい人間関係を構築することに特化している．そのため SNS は，新しい人間関係を構築するための様々な機能が用意されているが，本研究では，3 者間での報告，連絡，相談の場とし，就職活動を支援するために必要な機能を検討し，実装，削除を行う．

第2章

研究の背景

2.1 就職活動の現状

就職活動はエントリーから始まり、合同説明会、会社説明会、筆記試験、面接試験を経て内定へと至る。就職活動生は、その就職活動の状況に応じて様々な対策を行っている。例えば、筆記試験に対しては、適正検査への対策を行い、面接試験に対しては面接練習を行う。また、会社説明会に対しては会社を調べたり、履歴書を提出する。そして、面接練習や履歴書を提出するために、業界研究や企業研究、自己分析を行い、履歴書の修正などを行う。このように就職活動生は、内定に至るまでに様々な対策を自ら考え、積極的に行っている。

また、就職活動生は、就職活動生を指導している教員や、在籍している学校の就職を支援している部署（本学で言えば就職支援部）から、状況に応じた様々な支援を受けることができる。

就職活動の中で、就職活動生が行う対策とそれに対して本学の教員、就職支援部が行っている支援は次の通りである。

- 就職活動を開始したばかりの場合

- － 就職活動生の行動

業界研究や企業研究を行い、志望する企業などを考え、エントリーを行う。また、履歴書を書くために自己分析を行う。

- － 教員による支援

就職活動生が自分の特長を生かした内容を履歴書に書けるように自己分析の補助を

2.1 就職活動の現状

行う。

－ 就職支援部による支援

就職活動生の意識を高めるために就職活動に関する授業を行ったり，合同説明会などの実施情報を配信する。また，業界研究や企業研究のための書籍の貸出や，求人票の閲覧を行えるようにする。

● 合同説明会の場合

－ 就職活動生の行動

合同説明会の参加企業を調べる。合同説明会によっては，自己PRなどを書く必要があるため，その準備を行う。そして，引き続き業界研究，企業研究，自己分析を行う。

－ 教員による支援

自己分析の補助や履歴書の添削を行う。

－ 就職支援部による支援

就職活動生の経済的・時間的負担を減らすために，学外や学内で行われる合同説明会の実施情報を就職活動生全体に配信する。また，大阪や東京で開催される合同説明会への参加を容易にするために，大阪や東京行きの格安バスなどを用意している。

● 会社説明会の場合

－ 就職活動生の行動

会社の情報を調べ，説明会に備える。会社によっては，履歴書を提出する必要があるため，履歴書の修正を行う。そして，引き続き業界研究，企業研究，自己分析を行う。

－ 教員による支援

就職活動生の特長を生かした内容の履歴書になるように，履歴書の添削を行う。

－ 就職支援部による支援

学内で行われる会社説明会の実施情報を就職活動生全体に配信する。履歴書の添削

2.1 就職活動の現状

を予約制で行う。

● 筆記試験の場合

－ 就職活動生の行動

SPI2(性格と能力から資質を検査する就職採用テスト) や CAB(コンピュータ職の適正検査)・GAB(新卒総合職の採用を目的に開発された検査) などの試験勉強を行う [1][2]。そして、引き続き業界研究，企業研究，自己分析，履歴書の修正を行う。

－ 就職支援部による支援

SPI2 への対策として問題集の配布を行う。

● 面接試験の場合

－ 就職活動生の行動

本番の面接試験で自分の伝えたいことが伝えられるようにするために，面接での受け答えや入退室などの練習を行う。そして，引き続き業界研究，企業研究，自己分析，履歴書の修正を行う。

－ 教員による支援

面接対策のために面接練習を授業に取り入れている。

－ 就職支援部による支援

模擬面接を予約制で行ったり，面接対策のためのビデオを貸出す。

● 内定連絡の場合

－ 就職活動生の行動

教員，就職支援部に内定を頂いた企業，日時を報告する。そして，今後，就職活動を続けるかを相談する。

－ 教員による支援

今後，就職活動を続けるかを就職活動生と相談を行う。

－ 就職支援部による支援

就職活動生から提出された内定先企業の情報を管理する

2.2 就職活動の問題点

上記以外にも、就職活動生は自分の指導教員に対して、随時、活動状況の報告や就職相談を行う。また、就職活動生が就職支援部を訪れば、就職相談を予約制で受けることができる。他にも、過去の先輩が体験した各企業の筆記試験や面接試験の情報などが閲覧できる。

就職活動生は、これらの教員や就職支援部からの状況に応じた支援によって、より円滑に就職活動を行うことができる。また、これらの状況に応じた支援は、就職活動生が教員、就職支援部に対して報告、連絡、相談を行うことで成り立つ。

2.2 就職活動の問題点

実際の就職活動では、就職活動生、教員、就職支援部の3者間で報告、連絡、相談が行えていない場合が多い。3者間で報告などが行えていない理由は次の通りである。

● 就職活動生と教員間での問題点

- － 就職活動生が遠隔地での活動中に、教員に対して就職活動に関する相談をしたい場合、電話やメールを用いる方法がある。しかし、教員は授業が無い時間帯、失礼にならない時間帯など時間に制約があり、条件が整わないと電話をかけづらい。また、目上の人に対してメールでの連絡は、マナーを意識してしまい、教員に対してメールを送りづらい。そのため、教員に対して電話やメールを用いて、相談することに抵抗があるため、相談する機会が限られてしまう。同様の理由で、就職活動生が教員に活動状況の報告ができないため、状況に応じた支援を受けることができない。
- － 積極的に就職活動を行い、教員に対して随時、報告や相談を行う就職活動生がいる一方で、就職活動への意識不足から積極的に就職活動を行おうとせず、教員に対して随時、報告や相談をしない就職活動生もいる

● 就職活動生と就職支援部間での問題点

- － 就職支援部に相談や履歴書の添削などを行ってもらう場合、予約制のため、遠隔地での活動中であれば予約が行えない。また、教員と同様に電話やメールでは、予約や相談はしづらいため、就職支援部に相談する就職活動生は少なくなる

2.3 研究の目的

- － 就職活動生の就職活動への意識が足りないため、就職活動の開始時期が遅くなっている場合がある。そのため、就職支援部では、就職活動に関する授業を取り入れたり、合同説明会に合わせて大阪、東京行きのバスを格安で用意するなど、就職活動生の就職活動への意識を高めようとしている。しかし、それらの情報が就職活動生全体に伝わっていない問題がある。
 - － 就職活動生が履歴書の添削や面接練習、就職相談などで就職支援部に出向くことがない限り、就職支援部は支援のしようがない。出向いた場合、就職活動生の活動状況を知ることができるため、その時の状況に応じた支援を与えることができる。しかし、その後は再び就職支援部に訪れるか連絡がない限り、その就職活動生の活動状況を知ることができないため、その時の状況に応じた支援を与えることができない
- 教員と就職支援部間での問題点
 - － 教員と就職支援部間では、就職活動がうまく進んでいないなどの気になる就職活動生に対しての支援について、就職活動生の活動状況の情報共有が行われている。しかし、学科ごと、教員ごとに就職活動生に行っている支援方法が異なるため、就職支援部は気になる就職活動生の情報を取得できない場合がある。

2.3 研究の目的

本研究では、前述した就職活動生、教員、就職支援部の3者間のそれぞれの問題を解決するために、3者間で活動状況の報告、連絡、就職相談が可能な環境を構築することで、就職活動生がより円滑に就職活動を行えるようにする。また、就職活動生、教員、就職支援部の3者間で情報共有ができるようにする。

本研究では3者間で報告、連絡、相談を可能とする環境としてSNS(Social Networking Service)を用いる。このSNSを用いて本学就職活動生、本学教員、本学就職支援部の3者間で報告、連絡、相談を補助するシステムを構築し、就職活動を支援することを目的とする。

第3章

就職活動の支援

3.1 就職活動に関する意識調査

実際の就職活動でどのような問題があるかを調査するため、意識調査を行った。就職活動生を支援する就職支援部の方と、就職活動を終えた学生にそれぞれ就職活動に関する意識調査をインタビュー形式で行った。

3.1.1 就職支援部の方へのインタビュー結果

就職支援部の方に、就職活動生に対する支援上の問題についてインタビューを行った。その結果、就職活動生の就職活動への意識を高めようとしているが、それが就職活動生に伝わらず、中々高まらないという意見を頂いた。就職活動生の多くは、就職活動への意識が足りないため、情報収集、試験対策などのために就職支援部に出向くことがない。そして、就職支援部は、就職活動生が就職支援部に訪れないと支援のしようがない。そのため、就職支援部は、学内で行われる説明会の情報配信や就職相談、履歴書の添削などを行い、就職活動への意識を高めようとしている。しかし、就職支援部への就職相談の件数が年々少なくなっていることや、学内で開催される説明会にもっと積極的に参加してほしいという意見から、就職活動生の意識を高めることは難しい。そして、学科ごとや教員ごとに就職活動生への支援方法が異なるため、支援したくてもできない学生が出てくるという意見も頂いた。

3.2 就職活動を支援するために必要な環境

3.1.2 就職活動を終えた学生 10 名へのインタビュー結果

就職活動を終えた学生に、実際に就職活動を行っていた頃に、どのような就職活動の支援を受けていたのかについてインタビューを行った。その結果、遠隔地で就職活動を行っている際、就職相談したくてもできない場合があるということが分かった。その理由として、遠隔地にいる場合、教員や就職支援部に対して、電話やメールでは時間帯や礼儀を気に掛けるため、相談しづらいといった意見を頂いた。その場合、一度大学へ戻ってから相談するといった場合が多いことが分かった。

3.2 就職活動を支援するために必要な環境

前述した就職支援部の方と就職活動を終えた学生からの意見から、就職活動生、教員、就職支援部の 3 者間で報告、連絡、相談が可能な以下に示すような環境が必要である。

- 遠隔地からでも就職相談が可能

就職活動生が遠隔地からでも、教員や就職支援部に就職相談ができれば、円滑に就職活動を行うことができる。そのため、遠隔地から教員や就職支援部に対して就職相談が可能な環境が必要である。

- 就職活動生の活動状況の把握

就職活動生が活動状況を随時報告することで、教員、就職支援部が就職活動生の活動状況を把握できる。そして、就職活動生は、会社説明会の場合には履歴書の添削や、面接試験には面接練習といったように、自分の活動状況に応じた支援を受けることができる。そのために、就職活動生が遠隔地からでも随時、活動状況の報告が行えるようにして、教員や就職支援部がその情報を把握しやすくする必要がある。

- 就職支援部からの就職活動に関する情報を就職活動生全体に配信

就職活動生全体に対して、就職支援部から配信される就職活動に関する情報を伝えるようにする。それにより、就職活動生の就職活動への意識が高まり、就職活動の開始時期が早まるなど、就職活動を円滑に行うことができる。

3.3 SNS の利用

3.3 SNS の利用

就職活動生，教員，就職支援部といった，立場の違う 3 者間が遠隔地でも報告，連絡，相談する手段として，電話やメールといった方法がある．しかし，3.1.2 で述べたように，就職活動生は，教員や就職支援部に対して，電話やメールでは敷居が高く，抵抗があり相談しづらい．そこで，立場の違う 3 者間でもインターネット上で社会的ネットワークを構築できる SNS の利用が有効だと考える．また，SNS は会員制をとることができるため，本学の就職活動生，教員，就職支援部のみの利用が可能である．

SNS とは，Social Networking System の略であり，インターネット上で社会的ネットワークを構築するサービスのことで，人と人とのつながりを補助する場である．SNS には，社会的ネットワークを構築するための様々な機能が用意されている．例えば，掲示板機能では，同じ目的や趣味をもった他人と意見交換や情報共有などが可能である．また，日記機能は，他人の日記を読み，そこから他人と交流が可能である．

そして，SNS には，招待制と登録制の 2 つの SNS がある．まず，招待制は，SNS を利用している会員から，会員でない人に対して，招待してもらわなければ，SNS を利用することはできない．また，登録制は，誰でも自由に利用者の意思で SNS を利用することができる．

代表的な SNS の例として，日本最大の会員数である約 2600 万人 (2010 年 2 月現在) が利用している「mixi」がある [3]．また，最近では，四国の大学関係者のみが会員となれる「さとあい」や，「ごろっとやっちろ」のような熊本県八千代市の関係者のみが会員となれる SNS などがある [4][5]．このように，SNS は，地域や企業限定で活用されている SNS が増えてきている．

3.4 一般的な SNS

一般的に利用されている SNS の機能は，新たな人間関係の構築や友人，知人とのコミュニケーションの補助に利用されている．一般的な SNS の機能は以下の通りである．

- 掲示板機能

3.5 本研究の SNS

同じ目的や趣味を持った人が集まり，意見交換や情報共有を行い，交流することができる．

- 日記機能

自分の日記を指定した範囲内で公開することができる．また，公開されている友人や他人の日記を読むことができ，その日記に対してコメントを書き込むことができる．それにより，友人や他人と交流することができる．

- メッセージ機能

同じ SNS に登録している人とメッセージの送受信することができる．そして，メッセージを送信する場合，相手のアドレスを知らなくても送信できる．

- マイフレンド機能

自分の友人や知人，そして，SNS 内で知り合った人同士で登録し合う．また，マイフレンドになるためには，相手にマイフレンドとして承認されないと登録できないようになっている．

- スケジュール機能

自分のスケジュールを登録ことができ，カレンダーで確認することができる．

- プロフィール機能

自分の血液型や出身地，自己紹介などを登録することができる．

- 紹介文機能

マイフレンドとなっている人が，どんな人物なのかを紹介することができる．

- レビュー機能

本や音楽に対して，意見や感想を書き，公開することができる．

3.5 本研究の SNS

本研究の SNS は，就職活動生，教員，就職支援部の 3 者間で就職活動を支援するため，一般的な SNS のように，新たな人間関係の構築を目的とした機能は利用せず，改良を行う．

3.5 本研究の SNS

そのため、一般的な SNS にあるマイフレンドのような概念を用いない。また、就職活動生の活動状況を教員、就職支援部が把握できるようにするため、教員や就職支援部は、就職活動生の情報を全て閲覧できるようにする。そして、就職支援部からの就職活動の最新情報などを就職活動生、全員に情報を共有できるようにするため、全参加者は、掲示板に最初から参加し、退会も行えないようにする。

第 4 章

就職活動支援 SNS の設計

4.1 システムに必要な機能

本研究では、就職活動生、教員、就職支援部の 3 者間で報告、連絡、相談を補助するシステムを構築する。報告を行うための機能として、状況報告機能、スケジュール機能、日記機能が必要となってくる。また、連絡を行うための機能として、メッセージ機能が、相談を行うための機能には、掲示板機能が必要である。

本研究では、就職活動の支援に必要な機能については削除を行い、必要最低限の機能を実装する。

4.2 掲示板機能

掲示板機能は、「就職支援部」という掲示板を作成し、そこから就職活動に関する最新情報や、学内説明会などの情報を就職活動生全体に配信するための機能である。また、就職活動生からの就職相談を受け付けるためにも用いる。この掲示板で相談された内容は、他の就職活動生に公開されるようにする。そのため、相談した就職活動生の名前が他の就職活動生に分からないように、相談した就職活動生の名前を表示しないようにする。しかし、教員や就職支援部は誰が相談したか分かるようにする。

一般の SNS では、掲示板への参加は任意であるが、本研究の SNS では、就職活動生全員に就職活動に関する最新情報を配信するため、初期状態から参加という形式にする。

4.3 日記機能

4.3 日記機能

日記機能は、就職活動生が就職活動の振り返りや反省などに用いるための機能である。

4.4 メッセージ機能

メッセージ機能は、就職活動生が教員や就職支援部に対して、個別に相談したい場合や、就職支援部への履歴書の添削や面接練習の際の事前予約などに用いる機能である。

4.5 スケジュール機能

スケジュール機能は、就職活動生が会社説明会や面接試験などの活動の詳細を登録するための機能である。合同説明会や会社説明会の場合、または、筆記試験、面接試験の場合などに場合分けして、それぞれの詳細を入力するためのテンプレートを用意する。それにより、就職活動生全員が同じ形式で活動内容を登録することになり、教員や就職支援部は就職活動生の活動状況を把握しやすくなる。

また、就職活動生が登録した活動内容の詳細に対して、教員や就職支援部は助言を書き込められるようにする。

4.6 状況報告機能 (活動状況表)

状況報告機能は、カレンダー形式で表示されるスケジュール機能とは違い、受験した各企業ごとに説明会から試験、内定までの進行状況を表形式でまとめる機能である。また、選考が進んでいるかをはっきり示すために内定獲得した企業か、選考中の企業か、選考が終了した企業かの3つで色分けする。この表を見ることにより、就職活動生の活動状況を把握できるようになり、就職活動が進んでいるのか進んでいないのかがわかるようにする。

第 5 章

就職活動支援 SNS の概要

本研究では、OpenPNE[6] というオープンソースの SNS エンジンを改良した就職活動支援 SNS を構築した。この OpenPNE は PHP、MySQL(データベースサーバ)、Postfix(メールサーバ)、Apache(Web サーバ) で構成されている。

5.1 システムの構成

本研究では、OpenPNE に予め実装されている機能の内、掲示板機能、日記機能、メッセージ機能、スケジュール機能を改良した。また、それ以外の本研究では必要としない機能であるフレンド機能、レビュー機能、紹介文機能などは削除した。そして、状況報告機能については、OpenPNE に実装されていない機能のため、独自で実装を行い、PC と携帯電話の双方からでも利用できるようにした。

教員や就職支援部は就職活動生の活動状況を把握する必要があるため、就職活動生の情報を全て閲覧できるようにした。

5.1.1 ホーム画面

本研究の SNS では、まず SNS のログイン画面からアカウントとパスワードを入力し、ログインを行う。その際に、データベースサーバから入力されたアカウントが、就職活動生、教員、就職支援部なのかを判別する。判別するために、予め管理者側で設定する必要がある。ログイン後は、ホーム画面が表示される。このホーム画面には、SNS 内の最新情報が表示されるようになっている。実際のパソコンから見たホーム画面を図 5.1、携帯から見た

5.1 システムの構成

ホーム画面を図 5.2 に示す。



図 5.1 就職活動支援 SNS のホーム画面 (パソコン)



図 5.2 就職活動支援 SNS のホーム画面 (携帯)

5.1 システムの構成

5.1.2 活動状況表

状況報告機能による活動状況を表形式でまとめられる活動状況表は、閲覧制限を設けた。これは、自分の活動状況を他のユーザから見られたくない場合のことを考えての制限である。この閲覧制限によって、自分の活動状況表をどこまで見せてもよいかを決めることができる。しかし、教員や就職支援部に対しては、就職活動生の活動状況を把握する必要があるため、活動状況表を全て閲覧できるようにした。

実際の活動状況表を図 5.3 に示す。また、他人から見た場合の活動状況表を図 5.4 に示す。

2010年2月現在の就職活動状況									
受験企業	現状	合同説明会 +	会社説明会 +	筆記試験 +	面接試験 +	2次面接	3次面接	内定	
1 ネクストウェア +	結果待ち 変更		2/3	2/8 (2/14)	2/12 (2/12)	3/15 (3/15)			
2 三菱電機情報ネットワーク +	日程調整中 変更		2/11						
3 コヤマシステム +	選考辞退 変更		2/9						
4 富士通中国システムズ +	内定獲得 変更	2/3	2/9	2/25 (3/3)	3/6 (3/6)	3/14 (3/16)	3/19 (3/23)	3/23	
5 マウス +	日程調整中 変更	2/3	2/10	2/10 (2/15)					
6 富士通四国システムズ +	落選 変更		2/15	2/15 (2/22)	2/26 (3/1)				

図 5.3 状況報告機能を用いた際の活動状況表

2010年2月現在の就職活動状況									
受験企業	現状	合同説明会	会社説明会	筆記試験	面接試験	2次面接	3次面接	内定	
1 ネクストウェア	結果待ち		2/3	2/8 (2/14)	2/12 (2/12)	3/15 (3/15)			
2 三菱電機情報ネットワーク	日程調整中		2/11						
3 コヤマシステム	選考辞退		2/9						
4 富士通中国システムズ	内定獲得	2/3	2/9	2/25 (3/3)	3/6 (3/6)	3/14 (3/16)	3/19 (3/23)	3/23	
5 マウス	日程調整中	2/3	2/10	2/10 (2/15)					
6 富士通四国システムズ	落選		2/15	2/15 (2/22)	2/26 (3/1)				

図 5.4 他の人から見た場合の活動状況表

5.1 システムの構成

5.1.3 スケジュール画面

スケジュール機能では、就職活動生が行った活動内容を詳細に登録することができる。その内容は、活動内容(エントリ、合同説明会、会社説明会、筆記試験、面接試験、内定連絡から選択)、企業名、試験日時、可否連絡日、詳細(試験の時間や内容、手応えなど)である。

登録された活動内容は、それぞれに就職活動生が入力しやすいようにテンプレートを用意している。そのため、就職活動生は全員同じ形式で詳細を登録できるようにした。また、活動内容の詳細に対して、教員や就職支援部から助言を書き込むことができるようにした。

実際の活動内容の詳細を登録した際のスケジュール画面を図 5.5 に示す。

▶ 予定	
活動内容	面接試験
企業名	FKS
試験日時	2010年01月25日00時00分
可否連絡日	2010年01月27日00時00分
詳細	<p>面接形式: 個人面接 (面接官 2人、学生 1人)</p> <p>面接時間: 60分</p> <p>雰囲気: 笑いがあり、ぎすぎすした雰囲気ではありませんでした。</p> <p>聞かれた質問1: 志望理由</p> <p>質問1の回答: 経営理念と答えたが、そのあとに深く突っ込まれ、ちゃんと答えられなかった</p> <p>聞かれた質問2: プログラミング言語は何を扱えるかと、それを使って、何を作り、何を得たのか</p> <p>質問2の回答: 一通りの言語を言って、SNSのオープンソースを作っていることを言った。 グループで授業を行っており、そのリーダー兼プログラマーだったため、未知であるPHPとMySQLを理解しながら、指示するのが難しかった。</p> <p>手応え、感想など: 志望理由で深く突っ込まれたこともあり、あまりよい感触ではなかった。 人事の方に名前と顔を覚えていただいたのに残念です。</p>

図 5.5 スケジュール画面

5.1 システムの構成

そして、活動内容の詳細を入力するためのテンプレートは以下の通りである。

- 合同説明会や会社説明会の場合

開催場所，説明会の内容，手応えや感想。

- 筆記試験の場合

試験時間，試験内容 (SPI, CAB・GAB, 性格診断, その他の試験), 手応えや感想。

- 面接試験の場合

面接形式 (グループディスカッション, 集団面接, 個人面接), 面接時間, 雰囲気, 聞かれた質問, 回答した内容, 手応えや感想。

- 内定連絡の場合

連絡方法 (直接, 電話, メール), 今後について。

5.1.4 掲示板画面

掲示板機能により、就職支援部から就職活動生へ就職活動に関する最新情報を閲覧できるようにした。また、相談トピックを作成し、そこから就職支援部に対して、就職活動生は相談を書き込められるようにした。

一般の SNS での掲示板機能では、トピックに書き込まれた際に、書き込んだユーザの名前が表示されるようになっている。しかし、本研究の SNS では、相談トピックに書き込んだ就職活動生の名前を表示しないようにした。それは、相談内容によっては、他の就職活動生には見られたくない相談内容もあるためである。そのため、就職活動生が相談トピックを見ると、就職活動生からの書き込みは名前ではなく、「就活生」とだけ表示されるようにした。また、教員や就職支援部からは、就職活動生の名前を表示するようにしている。

実際の相談トピックでの就職活動生と就職支援部のやり取りの画面を図 5.6 に示す。

5.1 システムの構成

書き込み	
	1番～8番を表示
2010年 02月02日 17:10	<p>1 [就活生]</p> <p>筆記試験はシャーペンか鉛筆かどちらが良いですか？</p>
2010年 02月02日 18:14	<p>2: 就職支援部[就職支援部]</p> <p>>> 筆記試験はシャーペンか鉛筆かどちらが良いですか？</p> <p>筆記試験の内容によってはマークシートでマークする場合と記入する場合とがあるので両方とも常に用意するのがいいと思います。</p> <p>また、鉛筆削りを一緒に用意するのもいいと思います。</p>
2010年 02月02日 23:55	<p>3 [就活生]</p> <p>筆記試験の対策はSPIをやっておけば充分ですか？</p>
2010年 02月03日 00:51	<p>4: 就職支援部[就職支援部]</p> <p>>> 筆記試験の対策はSPIをやっておけば充分ですか？</p> <p>筆記試験にはSPIがよく出ます。 しかし、それ以外にもCAB・GABと呼ばれる適正試験や一般常識問題などが出題されます。 そのためSPI以外にも対策は必要です。</p> <p>就職支援部に来て頂けば、それらの対策問題集がありますので、気軽にお越しください。</p>

図 5.6 就職活動生から見た場合の相談トピック画面

第 6 章

評価

本研究の SNS が、就職活動の支援に有効かどうかについて評価を行った。

6.1 評価環境

評価対象として、就職活動を終えた、2010 年 3 月卒業予定の学生 6 名 (学部生 3 名、院生 3 名) と、就職支援部の方 1 名に評価を行った。

6.2 評価内容

評価内容として、まず、本研究の目的、背景を説明した上で、本研究の SNS を利用してもらった。その後、評価アンケート (3 択の選択形式) を実施した。具体的な評価の手順を以下の通りである。

1. 本研究の目的、背景の説明
2. 本研究の SNS の説明
3. 活動状況表についての説明
4. 実際に活動状況表に活動内容を登録
5. 掲示板機能、メッセージ機能についての説明
6. 実際に相談トピックに相談内容を書き込む
7. 質疑応答、システムに関する意見交換
8. システムについてのアンケートへの記入

6.3 システムに関するアンケート結果

6.3 システムに関するアンケート結果

就職活動を終えた，2010年3月卒業予定の学生6名(学部生3名，院生3名)と，就職支援部の方1名にアンケートを実施した．そのアンケートの結果は以下の通りである．

6.3.1 学生からの評価結果

学生6名からのアンケートの結果は以下の通りである．

表 6.1 学生の就職活動についての回答

	学生 A	学生 B	学生 C	学生 D	学生 E	学生 F
設問 1：就職活動の期間	6 カ月	6 カ月	4 カ月	5 カ月	4 カ月	3 カ月
設問 2：就職活動中に県外にいた日数	60 日	28 日	21 日	40 日	60 日	70 日
設問 3：受験した企業数	25 社	8 社	12 社	68 社	50 社	90 社

設問 4

活動状況表が就職活動の状況把握に有効かどうか

表 6.2 活動状況表の有効性についての回答

	はい	どちらでもない	いいえ
人数(名)	6	0	0

以下は設問 4 に関する意見を一部抜粋したものである．

- 企業ごとにまとめられていて，複数の企業を受ける場合のスケジュール管理が把握しやすいと思った
- 状況把握に使えるが，Google やリクナビなどのサービスに似ているので，一応ある位の認識
- 自分が見て，把握する分にはあまり変わらない．他の人が見るには良いかも

6.3 システムに関するアンケート結果

設問 5

活動状況表は使いやすい，見やすいかどうか

表 6.3 活動状況表の操作性についての回答

	はい	どちらでもない	いいえ
人数 (名)	3	2	1

以下は設問 5 に関する意見を一部抜粋したものである。

- 「はい」と答えた人の意見
 - － 他のスケジュール表よりかは使いやすく，各企業の受験状況を色で完結に把握できるのは良いと思った
- 「いいえ」と答えた人の意見
 - － 配色が見づらく，ソートがないのでわかりづらい
 - － Google のサービスで似たようなものがあり，そっちで管理していた

設問 6

遠隔地での就職活動中に教員や就職支援部に相談したいと思ったことがあるかどうか

表 6.4 遠隔地から相談の有無についての回答

	はい	どちらでもない	いいえ
人数 (名)	1	3	2

設問 6 で「はい」と答えた方の実際の相談内容は，履歴書の添削であった。また，その相談は「時間が合わない，実際に会わないと意味がない」という理由で相談はしなかったと回答している。

設問 7

就職活動を行っていた頃，本研究の SNS を利用していれば，就職活動を円滑に行うこ

6.3 システムに関するアンケート結果

とができたと思うかどうか

表 6.5 本研究の SNS の利便性についての回答

	はい	どちらでもない	いいえ
人数 (名)	5	1	0

設問 8

本研究の SNS についての意見，感想（一部抜粋）

- この SNS があれば，自分一人だけが就職活動をしているのではないと実感できる．それに就職活動への意欲が掲示板により高まると思う
- この SNS により，就職活動生の不安が解消できると思った．どこでも見れるこの SNS は有効だと思う
- もう少し，利用者が本学の学生だけの SNS という特色を生かしてたら使いやすいと思った
- この SNS があれば，相談してみたいと思う
- 現状の SNS であれば，リクナビや Google のほうを使うかもしれない
- 企業ごとのマイページの ID や提出した履歴書を入力しておく場所がほしい
- 実際に使ってみないと分からないが，掲示板が盛り上がっていたら，使ってみたくなるかもしれない
- 操作性を向上してほしい

6.3.2 就職支援部の方からの意見

就職支援部の方からの意見は以下の通りである．

- 活動状況表は，個々の学生の活動状況が把握できる内容であり，有効と考える
- 就職活動生と教員，就職支援部との関わりが深まる
- 他学生からも良い影響を受けると期待できる

6.4 考察

- 少人数，把握可能な人数であれば，就職活動生，教員，就職支援部の3者間で連携が取れる
- 利用者が増えた場合，今の環境では対応できるか不安

6.4 考察

6.4.1 活動状況表

活動状況表について，就職支援部の方からの意見で，就職活動生の活動状況を把握できる内容だという意見が得られた．また，学生からの評価結果からも学生6名全員が「活動状況を把握するのに有効だと思う」という結果を得られた．このことから，活動状況表は，就職活動生の活動状況を把握するのに有効な機能だということが分かった．

しかし，学生からの意見で，受験企業が増えるにつれ，見にくくなるという意見もあった．そのため，選考の進行度順や最終更新日が近い順などにソートすることでより把握しやすくする必要である．また，操作性や他の外部サービスとの違いなどもあるため，クローズドなSNSの特色を生かした機能などを整えていく必要がある．

6.4.2 掲示板機能

掲示板機能について，学生から「就職活動の意欲が掲示板により高まる」，「就職活動生の不安が解消できると思った」といった意見が得られた．また，就職支援部からは「就職活動生同士で良い影響になる」という意見が得られた．これらから，遠隔地からでも教員や就職支援部に就職相談が可能な掲示板機能は，就職活動生の意欲が高まるなど，就職活動を円滑に行うのに有効ということが分かった．

しかし，設問6の回答結果(表6.4)より，遠隔地にいた際に教員や就職支援部に対して相談したいと思ったことがあると回答した学生は6名中1名という結果であった．この結果は，遠隔地でも相談したいと思う学生が少ないが，就職活動を終えて半年が過ぎているので「記憶が曖昧でよく覚えていない」という理由から学生が3名，どちらでもないに回答し

6.4 考察

ている．そのため，その学生 3 名は遠隔地での活動中に相談したいと思ったことがある可能性もある．また，「この SNS があれば相談してみたいと思う」と回答した学生もいることから，本研究の SNS によって，就職活動生と教員，就職支援部との関わりが深まり，就職活動を支援しやすくなると考えられる．

6.4.3 教員，就職支援部の方

就職支援部の方から，「利用者が増えた場合，対応できるか不安」という意見があった．今の本 SNS の環境では，大人数の就職活動生に対して，対応しやすい環境が整っていないことが分かった．

教員や就職支援部の方は，複数名の就職活動生を支援しているため，それらの複数名の就職活動生の活動状況を 1 人 1 人，把握する必要がある．しかし，本研究の SNS では，1 人 1 人の活動状況表を確認していかななくてはならないため，大人数の就職活動生となれば，把握するのに時間と手間がかかってしまう．そのため，大人数の就職活動生でも対応しやすい環境を構築する必要がある．

第 7 章

おわりに

本研究では、就職活動において、就職活動生、教員、就職支援部の 3 者間で活動状況の報告、連絡や就職相談ができていないという問題点に着目し、報告、連絡、相談を補助する環境を構築した。問題を解決するための環境として、3 者間でネットワークを形成できる SNS が有効と考え、SNS を用いてシステムを構築した。また、報告、連絡、相談を補助するためのシステム設計を行った。

実装では、オープンソースの SNS エンジンである OpenPNE を改良した。その際、就職活動の支援において、必要な機能を検討し、実装を行った。

評価結果より、少人数の就職活動生であれば、就職活動の支援に有効であるという結果が得られた。そのため、大人数の就職活動生でも対応しやすい環境を構築していく必要がある。

今後の展開として、就職活動を始める、行っている学生 7 名 (学部 5 名、院生 2 名) と、その学生 7 名を指導している教員の方 1 名、そして、就職支援部の方に本研究の SNS を試用してもらい、評価を行う予定である。

また、そのためにも、評価より頂いた意見を元に活動状況表の操作性、利便性の向上や、大人数の就職活動生でも対応しやすい環境を整えていく。

謝辞

本研究の全てにおいて、ご多忙な中、多大なるご指導を賜りました高知工科大学情報システム工学科妻鳥貴彦先生に心より御礼申し上げます。

本研究において、ご多忙な中、副査をお引き受け頂き、適切なお助言、ご指導頂いた同学科岩田誠先生に心から感謝致します。同様に、ご多忙な中、副査をお引き受け頂き、適切なお助言、ご指導頂いた同学科岡田守先生に心から感謝致します。

本研究において、評価へのご協力、適切なお助言を頂きました、高知工科大学就職支援部上田達哉氏に心から感謝致します。

一昨年度の研究活動に多大な功績を残して頂いた、高知工科大学 8 期生の橋田味加子氏に心から感謝致します。同様に、昨年度の研究活動に多大な功績を残して頂いた、高知工科大学 9 期生の竹内雄人氏に心から感謝致します。

ご自分の研究活動でお忙しい中、時間を惜しまず本論文への数々のご助言をして頂いた同研究室修士 2 年藤原健太郎氏に深く感謝致します。就職活動でお忙しいにも関わらず、実装へのご助言をして頂いた同研究室修士 1 年清水雅也氏に心から感謝致します。

ご自分の時間を削ってまで、様々なお助言、ご指導頂きました同研究室修士 2 年畠山博和氏、福田将行氏、山崎雄大氏、修士 1 年森拓也氏に深く感謝致します。

他研究室にも関わらず、ご自分の研究活動でお忙しい中、本研究の評価にご協力頂きました、岡田研究室学部 4 年坂下誠氏、富田努武氏に感謝致します。

励まし合い、意見を出し合いながら、共に卒業研究をやりぬき、支え合った同研究室学部 4 年濱野純平氏、細川恭平氏、前田晃宏氏、松井勇貴氏、松本直樹氏、本当にお疲れ様でした。雰囲気とを和ませ、様々なお協力をしてくださった同研究室学部 3 年生に感謝致します。

妻鳥研究室で過ごした 1 日 1 日が私の宝物です。本当にありがとうございました。

最後に、大学に 4 年間通わせて頂き、心の支えとなってくくださった祖母、父、母、叔母、本当にありがとうございました。

参考文献

- [1] “SPI2”, リクルートマネジメントソリューションズ, <http://www.recruit-ms.co.jp/service/spi2/>.
- [2] “CAB・GAB”, 日本エス・エイチ・エル株式会社, <http://www.shl.co.jp/>.
- [3] “mixi”, mixi Inc, <http://mixi.co.jp/>.
- [4] “キャンパス SNS「さとあい」”, 四国キャンパス SNS 協議会, <http://sns.ait230.tokushima-u.ac.jp/>
- [5] “ごろっとやっちろ”, 熊本県八代市, <http://www.gorotto.com/>.
- [6] “OpenPNE”, 手嶋屋, <http://www.openpne.jp/>.